

## 2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム「ゆうゆう」

作成日 平成28年4月1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	<p><b>事業所と地域とのつきあい</b>                      入居者の高齢化に伴う介護の重度化で、入居者・職員が地域に出る機会が少なくなり、自治会活動や地域住民との交流が少なく(閉鎖的に)なりつつある。</p>	<p>民生委員や老人クラブ、行政等と連携し、近隣に暮らす独居高齢者や住民との交流を図りながら、茶話会や井戸端会談風に高齢者が集い、お互いを見守り、支え合える環境を整備する。</p>	<p>地域に出る機会が少なくなった代わりに、地域住民にホームを訪問していただき、屋内で出来る茶話会やレクリエーション、健康体操、脳リハビリ、ボランティア交流会などを通じて交流を図る。</p>	1年
2	6	<p><b>身体拘束をしないケアの実践</b>                      明らかな身体拘束は行っていないが、帰宅欲求や徘徊する入居者に対し、職員は安全対策や見守りと称して監視下に置こうとする意識が根底にある。玄関直通のドアを施錠して迂回路(事務所経由)を設け、生活動線の一部を通行しにくくしている。</p>	<p>職員が監視しやすい特定の場所に長時間とどまらせることなく、間接的に行なっているドアの施錠を開放し、自由に往来ができる生活動線を確保する。</p>	<p>センサーやモニターによる監視システムを導入(活用)し、帰宅欲求や徘徊する入居者の生活動線と安全の確保に努める。また、行方不明者の捜索手順(マニュアル化)や通報などを徘徊模擬訓練で確認したり、徘徊者の行動パターンをモニタリング(経過観察)して、把握に努める。</p>	1年
3					
4					